

風早北部
防犯情報

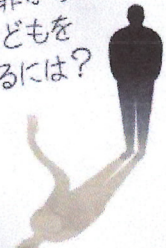
しょうなん

行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No-result"

本稿は3頁です

犯罪から
子どもを
守るには？



子どもを守るために 大人がすべきこと

連れ去りやわいせつ行為など、子どもが日常生活の中で犯罪の被害に遭うケースが毎年後を絶ちません。小さなお子さんをもつあなたは「どんな場所」「どんな人」に気をつけるべきか教えられますか？その対策として一昨年2月の毎日新聞の記事¹を基に以下に対策をお知らせします。

危ない場所ってどんなところ？

犯罪はどこでも起こりえます。たとえ人通りがあっても、犯罪者は子どもが1人になった瞬間や死角になる場所を見つけて子供を狙います。子どもが外を歩く時に気をつけてほしい場所について、「ひ・ま・わ・り」という標語を使って注意を呼びかけています。

- 「ひ」とりだけになるところ
- 「ま」わりから見えない（見えにくい）ところ
- 「わ」かれ道、わき道など、裏道の多いところ
- 「り」ようされていない家や、公園など人がいないところ



不審者ってどんな人？

「怪しい人を見たら逃げて」と言うのは簡単ですが、どんな人が不審者なのかを具体的に伝えるのは難しいものです。中には「近所の優しいお兄さん」を装って子どもを連れ去ろうとする人もいます。

不審者を見極めるコツとして提唱するのは、「は・ち・み・つ・じ・ま・ん」が特徴の人です。

- しつこく何かと「は」なしかけてくる人
- 理由もないのに「ち」かづいてくる人
- 道の端や物陰でじっと「み」つめてくる人
- いつまでもどこまでも「つ」いてくる人
- あなたが来るのを「じ」っと「ま」っている人

